

スタートアップ・エコシステム拠点都市 サイトビジット・報告会



令和3年9月1日 13:15-15:30

広島地域イノベーション戦略推進会議

■広島県の概要

古くから瀬戸内海や山陽道を通じて「**東西文化の結節点**」の役割を担い、物流や往来を支えてきた。

地方圏有数の規模を誇り、**中国・四国地方の中核**であると同時に、**関西から九州、山陰から四国をカバーする拠点**として、さらには、**アジアへのゲートウェイ**としての優位性も持ち併せている。

県内人口：(日本人:2,746千人,外国人:48,568人。令和2年10月1日現在の推計人口)

2,795千人

県内総生産(名目)：(平成29年度)

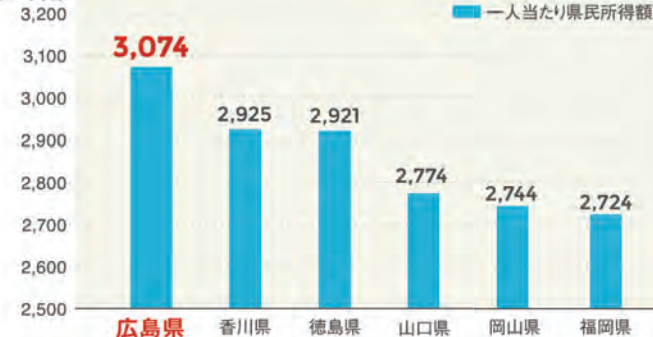
11兆7908億円

広島県では活発な
企業活動が行われています。

1人当たり県民所得額は
中国・四国・九州地方 第1位

平成27年度一人当たり県民所得額

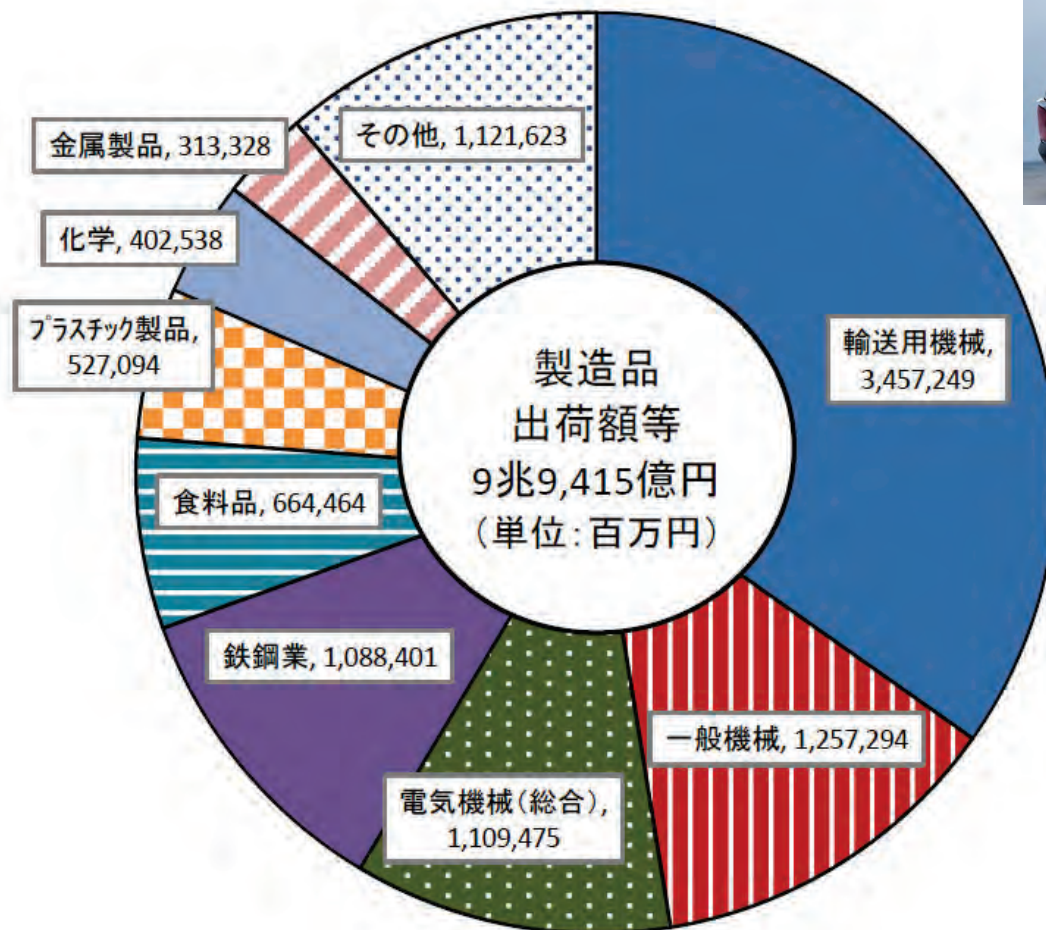
(単位:千円)



※出所:内閣府「県民経済計算」を基に県が作成

■広島県の産業構造

【産業中分類別製造品出荷額等】



(注1) 四捨五入等のため、合計が不一致になる場合がある。

(注2) 一般機械は、はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具を含む。

(注3) 電気機械(総合)は、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、通信情報機械器具を含む。

(資料) 経済産業省「平成30年工業統計調査」〔概要版〕

■イノベーション立県構想スタート

H21.11 湯崎英彦が広島県知事に就任

スタンフォード大学でMBAを取得した後、米国ベンチャーキャピタル／イグナイト・グループへの出向経験や経営者として上場経験を有する。



重厚長大型の産業構造からの脱却

イノベーションによる新産業の創造



「イノベーション立県」



目次

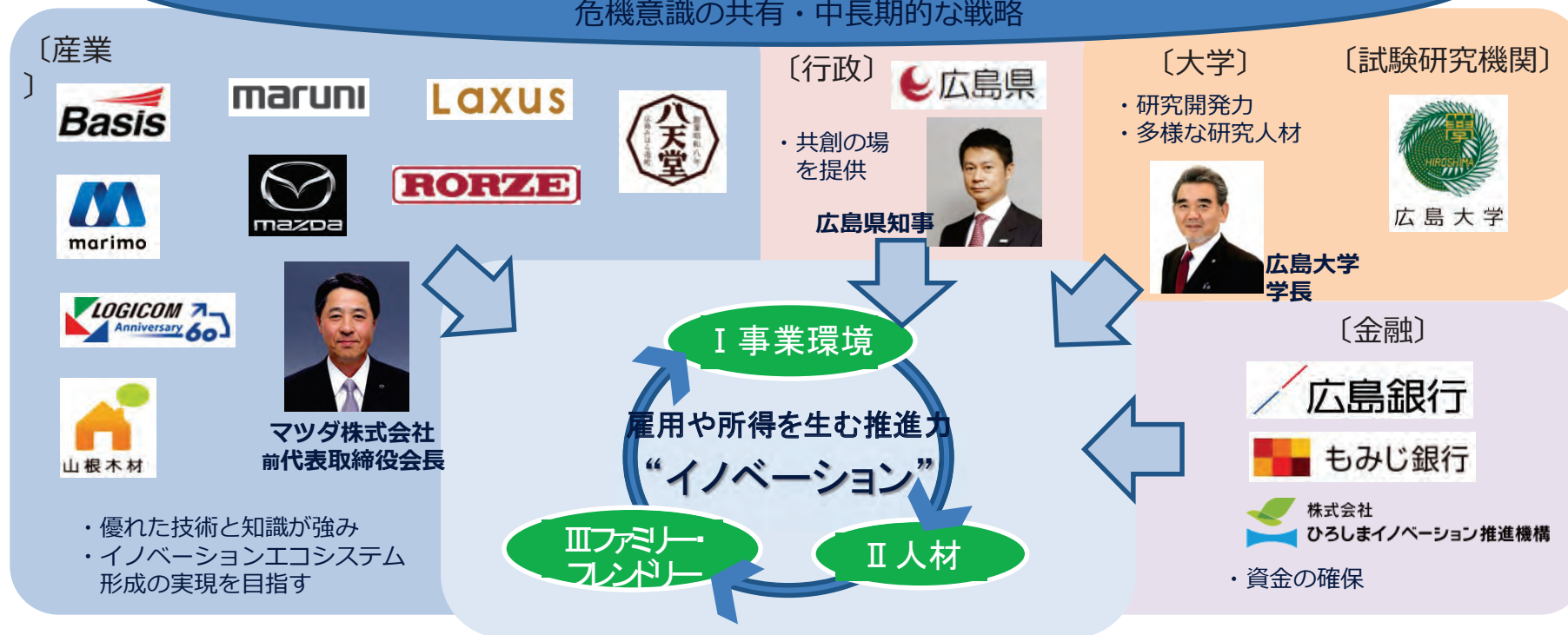
- 1 エコシステム形成推進全体
～計画概要（基本戦略とK P I）～
- 2 自治体の取組
- 3 民間組織の取組
- 4 大学の取組について（別紙参照）
- 5 都市の環境・繋がりの状況
- 6 アフターコロナ
- 7 グローバル

1 エコシステム形成推進全体

産学金官のトップが参画する会議で戦略を決定

H24.8 ~ 「地域イノベーション戦略推進会議」

危機意識の共有・中長期的な戦略



「イノベーション立県」

資金

つながり

グローバル化

新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる状態の実現

大項目ラベル

エコシステム形成推進全体

自治体の取組

大学の取組

民間の取組

都市の環境・繋がり

アフターコロナ

グローバル

1 エコシステム形成推進全体

広島型イノベーション・エコシステムのコンセプト

(令和2年10月開催の第4回地域イノベーション戦略推進会議で決定)

平和都市として世界に知られる広島は、あらゆる社会的課題の解決を目指し、未来に向けて世界の人たちに元気・勇気を与えるイノベーションを生み出していくエコシステムを構築します。

◆コンセプトに込めた想い

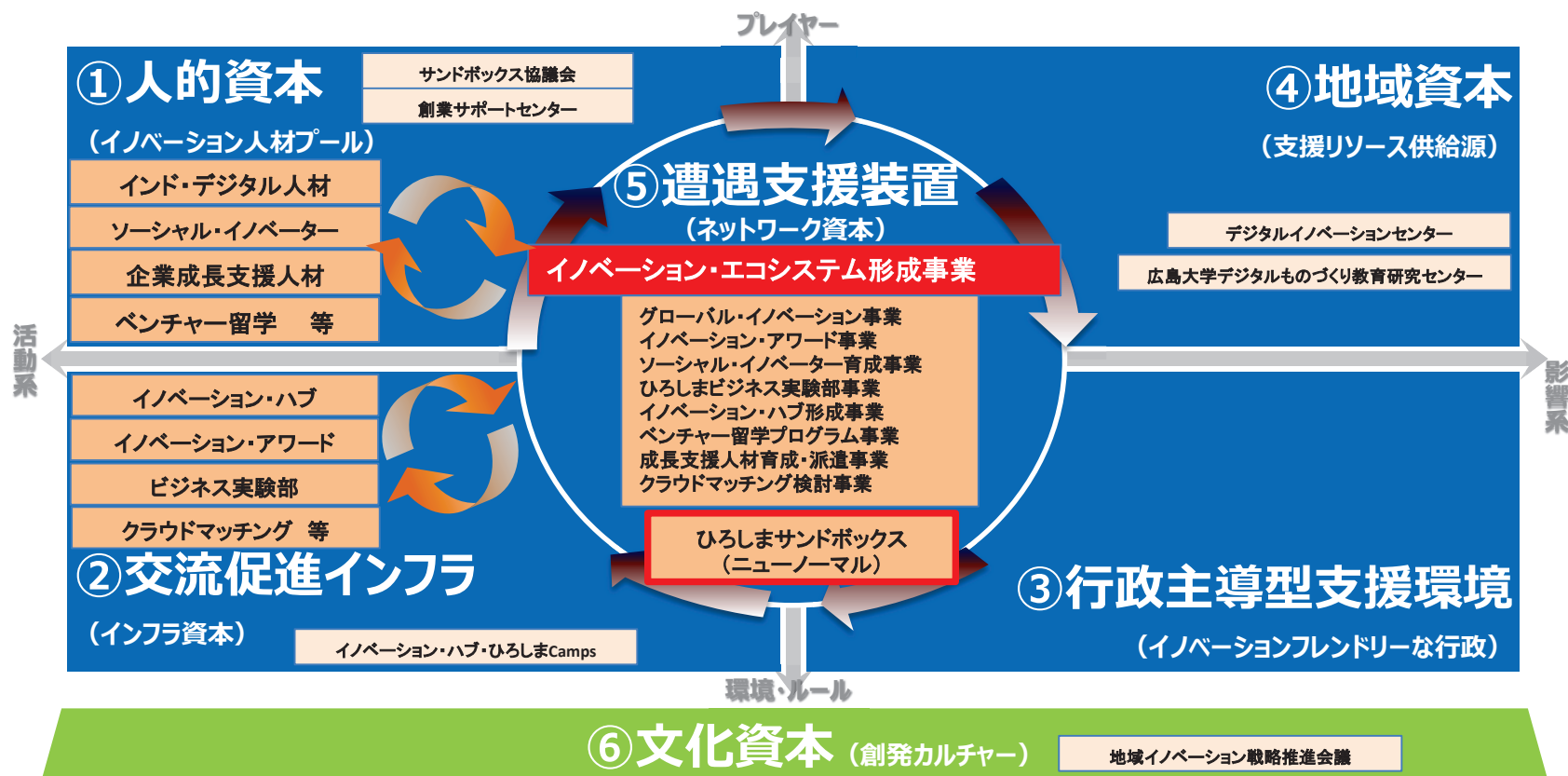
- ・平和都市として世界に知られる広島は、様々な困難を乗り越えて、世界に挑戦する風土、県民性で、独創的なものづくり、ビジネスモデルを生み出してきています。
- ・また、都市の便利さと隣接する豊かな自然環境を兼ね備え、豊かで健やかな暮らしが両立できる、開放的な都市機能を有する恵まれた環境の中において、人々の叡智を集結していきます。
- ・新たな技術やアイデアによって社会的課題の解決に挑戦する多様な人々が集まり、産学官が組織を超えて日常的に一体感を持って活動し、切磋琢磨する中で、未来に向けた、新たなビジネスの実現を目指すチャレンジを応援します。
- ・世界に広島があって良かったと言われる、世界の人たちに元気・勇気を与えるイノベーションを生み出していくエコシステムを構築します。

- ①メッセージ
- ②目的
- ③行動指針

1 エコシステム形成推進全体

地域の活動を総括する6つの機能要件を定義

世界銀行が公表したディスカッションペーパーをアレンジして作成した，イノベーション都市の評価軸に繋がる機能要件



底上げ・質の向上

6つの視点

「グローバル」「スタートアップ」「社会課題解決」
「オープンイノベーション」「人材育成」「マッチング」

1 エコシステム形成推進全体

新 K P I の設定

○イノベーション実現企業率

プロダクト・イノベーション（市場に導入した新しい又は改善した製品又はサービス）またはビジネス・プロセス・イノベーション（自社内に導入した新しい又は改善したビジネス・プロセス）を実現した企業の割合。

○イノベーション活動実行企業率

着手され、当該企業にとってのイノベーションに帰着することが意図されているあらゆる活動を実行した企業の割合。

（全国イノベーション調査2018調査統計報告より抜粋）

KPI	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
イノベーション実現企業率	《参考値》 36% (H30)	37%	39%	41%	43%	45%
イノベーション活動実行企業率	《参考値》 36% (H30)	42%	44%	46%	48%	50%

- ・ 10年後まで伸ばした先には、世界トップレベルのイギリス、ドイツを視野に入れている。
- ・ 文部科学省において2年に1度実施している「全国イノベーション調査」※1に加えて、毎年度、県として独自調査※2を実施することで、進捗状況を測定する。

※1「全国イノベーション調査」とは

民間企業を対象として、イノベーション活動の実態や動向を調査し、我が国の科学技術・イノベーション政策の企画、立案、推進に資する基礎資料を得るために実施されている。

また、本調査は、イノベーション・データの収集及び解釈のための国際的なガイドライン『オスロ・マニュアル』に準拠して実施されており、調査の結果は国際比較可能な統計として、OECD（経済協力開発機構）等が作成する指標集や報告書にも活用されている。

※2「県の独自調査」とは

- ・ 調査対象：県内企業のうち、ビジネスモデルの転換や変革が求められる産業分類に属する企業などから1,000社を抽出
- ・ 抽出方法：帝国データバンクにおける産業分類別の比率を目安に抽出
- ・ 調査方法：全国イノベーション調査に準じたアンケートの実施

1 エコシステム形成推進全体

エコシステム形成の目標・K P I

◆既存のK P I

達成済み	KPI項目	目標	現状 (2021年7月時点)	進捗
	イノベーション創出拠点 利用者数	50,000人	14,000人	28%
	V C 投資件数	120件以上	128件	106%(達成)
	V C 投資額	50億円以上	80億円	160%(達成)
	外国人留学生数 (R2.11.1時点)	3,100人	1,431人	46% (コロナにより減少)

一部達成済みの項目もあるため、広島県がイノベーション立県として今後5年間で目指している指数を新K P Iとして追加する。

◆新規追加予定のK P I

KPI項目	目標	現状 (2021年7月時点)	進捗
イノベーション実現企業率	45%	36%	80%
イノベーション活動実行企業率	50%	41%	82%
「デジタルものづくり研究センター」における研究プロジェクト にかかわるモデルベース開発等の導入企業数（累計）	80社	12社	15%